

KONISHI REPORT

第90期 株主通信

第2四半期累計期間

平成26年4月1日～平成26年9月30日

 **コニシ株式会社**

証券コード:4956



代表取締役社長 よこ た 横田 たかし 隆

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動に加えて、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇など、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては消費税増税前の駆け込み需要の反動を大きく受け、戸建て住宅を中心に新設住宅着工戸数が減少する状況となりました。土木建築業界においてはインフラ関連を中心とした補修・補強工事ならびにストック市場における補修・改修工事などの需要が引き続き高まっております。自動車業界においては、国内は低調に推移しましたが、北米をはじめとした海外市場の伸長や円安の影響により総じて好調であり、今後も高い水準で推移すると見込まれます。しかしながら、業界全般としては駆け込み需要の反動や消費マインドの低迷などの影響が長引き、また原材料価格やエネルギーコストが上昇する厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高547億円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益23億39百万円（前年同四半期比11.7%減）、経常利益22億87百万円（前年同四半期比17.4%減）、四半期純利益13億9百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

今後も消費税増税の反動による住宅関連需要の減少等は続く見込まれます。

当社にとって厳しい環境ではありますが、栃木工場新製造所の稼働、また年末には滋賀物流センターの稼働を控えるなど、生産体制の強化と物流体制の更なる構築を行い、コア事業の強化および周辺領域の市場発掘と育成、ならびにアジア市場への展開を積極的に進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期累計期間 連結財務ハイライト

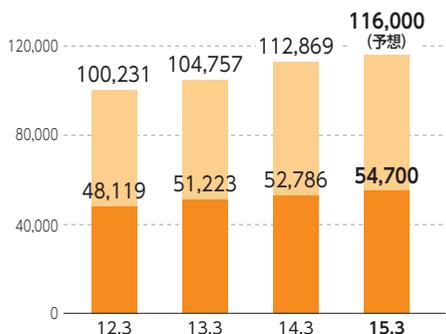
(2014年4月1日～2014年9月30日)

個別財務ハイライトについてはP.8をご覧ください ▶▶▶

売上高

54,700 百万円
前年同四半期比 3.6%増 ↑

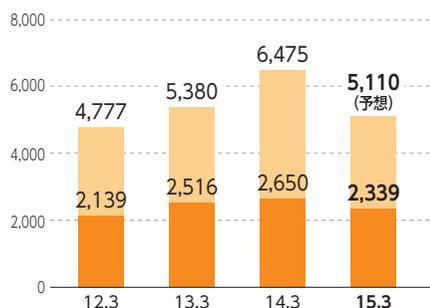
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



営業利益

2,339 百万円
前年同四半期比 11.7%減 ↓

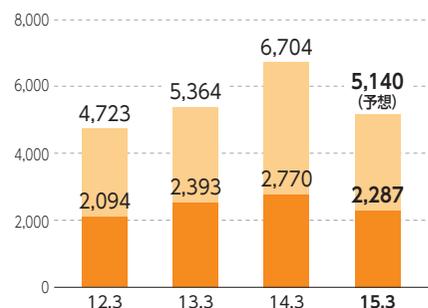
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



経常利益

2,287 百万円
前年同四半期比 17.4%減 ↓

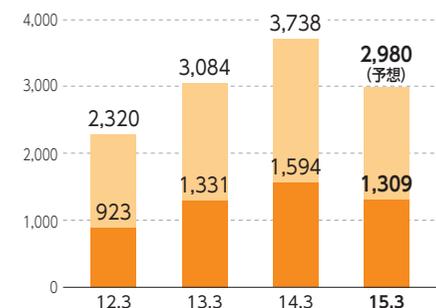
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



四半期(当期)純利益

1,309 百万円
前年同四半期比 17.9%減 ↓

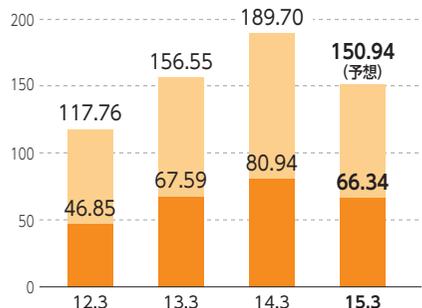
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

66.34 円

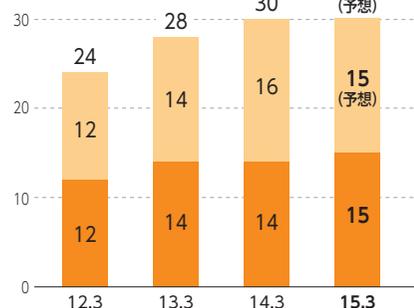
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (円)



1株当たり中間(期末)配当金

15 円

■ 中間 ■ 期末 (円)



ポイント解説

- 消費税増税前の駆け込み需要の反動が長引き、総じて厳しい環境で推移しましたが、M&Aにより取得した新規連結子会社が貢献し売上が増加しました。
- その他事業の工事請負事業が順調に推移し、また前期からの持ち越し工事が予定よりも早く完工したことにより売上に貢献しました。
- 営業利益は原材料コストおよびエネルギーコストの上昇、また生産物流体制強化のための投資に伴う減価償却費の増加等により前期実績を下回りました。

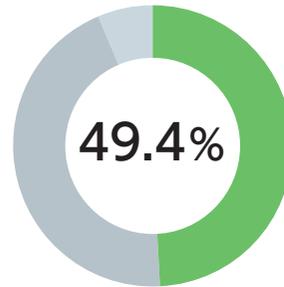
ボンド事業部門

事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造・販売しています。ボンド事業部門が関わる分野は、住まいの内外装工事といった住関連分野から、ビル、マンション、橋、トンネルなどの補修で使われる土木建築分野、工場などものづくりの現場で使用される産業資材分野、おなじみの工作・DIYといったコンシューマ分野まで多岐に亘ります。生産拠点は滋賀工場・栃木工場・浦和工場の三拠点です。また、浦和と大阪に研究開発拠点を備え、製品の開発・改良を行っています。



売上高構成比



売上高
27,002 百万円
前年同四半期比 **+5.3%**

営業利益
2,029 百万円
前年同四半期比 **-10.2%**

セグメント構成

コニシ(株) ボンド営業本部
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株)
矢沢化学工業(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)
Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)

当第2四半期連結累計期間の概況

住宅関連

消費税増税の反動が予想よりも長引き、戸建て住宅の着工戸数が減少したことから、内装工事用接着剤・テープ等の売上が前年を下回りました。外装タイル用接着剤および戸建て用シーリング材は新規顧客獲得により売上を伸ばしました。

産業資材関連

紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けウレタン系接着剤は前年並みで推移しましたが、自動車向け離型剤は前年実績を下回りました。



土木建築関連

道路、鉄道、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事は好調に推移しましたが、ビル、マンション等のリニューアル工事の発注が少なく、補修材の売上が前年を下回りました。ビル建築用シーリング材は前年並みに推移しました。

一般家庭用関連

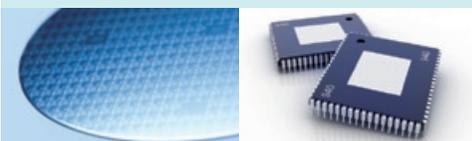
ホームセンターにおける新規定番商品獲得や、メディアを活用した販促活動等により手芸関連製品が売上を伸ばしたものの、売上は前年並みで推移しました。



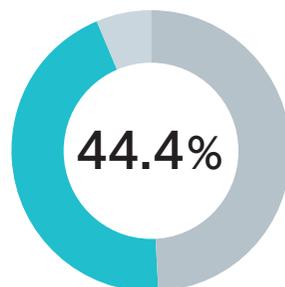
化成品事業部門

事業内容

企業間を結び化学品の専門商社として、国内外の数多くのメーカーから原料や商品を仕入れて、ユーザーに販売しています。化学品、塗料、電子電機、自動車、生活資材などの分野を中心に、中国、台湾、タイ、インドネシア、インドの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。



売上高構成比



売上高 **24,293** 百万円
前年同四半期比 **+0.6%**

営業利益 **230** 百万円
前年同四半期比 **-24.3%**

当第2四半期連結累計期間の概況

化学工業および塗料業界向け

産業向け商品を中心に需要減となる中、プラスチック原料、樹脂添加剤が堅調に推移し売上を伸ばしました。

電子・電機業界向け

光学関連は好調でありましたが、メディア関連樹脂が不調で全体としては売上が前年実績を下回りました。

自動車業界向け

北米・欧州向け自動車販売やパーツメーカーの輸出が好調に推移しましたが、国内向けは消費税増税の反動が長引き不調であり、売上は前年並みとなりました。

セグメント構成

コニシ(株) 化成品事業本部
丸安産業(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 PT.Konishi Indonesia(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド)
台湾丸安股份有限公司

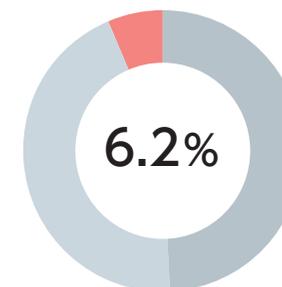
その他

事業内容

高速道路や鉄道、学校や病院などの補修・補強や耐震化工事を請け負い、現場の施工管理を行う工事請負事業を主としています。また、化学物質のデータベース管理とそのデータベースを利用したサービスの提供を行う事業も手掛けております。



売上高構成比



売上高 **3,404** 百万円
前年同四半期比 **+13.9%**

営業利益 **81** 百万円
前年同四半期比 **-7.4%**

当第2四半期連結累計期間の概況

工事請負事業(土木建設工事業)

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が順調に推移し、また、前期からの持ち越し工事が予定よりも早く完工したこともあり売上を伸ばしました。

化学品データベース事業

官公庁向けの物質調査等が完了するなど売上は前期並みに推移しました。

セグメント構成

コニシ(株) 不動産部門
ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株)
コニシ工営(株) 近畿鉄筋コンクリート(株)

お母さんたちからの

あったらいいな



幼稚園や保育園、小学校の入園・入学時にはバッグやお弁当袋、靴入れなど様々な袋ものの用意が必要です。そんな子供たちの入学を控えたお母さんたちの声から生まれた製品「ボンド 裁ほう上手®」。面倒なミシンを使わなくても、接着剤で簡単にかばんや袋を作れるという斬新な発想が受け、お客様に大変好評です。この製品は、当社独自で開発したシリル化ウレタン樹脂を配合することで、今までの布用接着剤では難しかった洗濯やドライクリーニングを可能にしました。かばん製作以外にも、ズボンのスソ上げや体操服などの名前付け、小物のリメイクなど、針と糸の代わりとして様々な用途にお使いいただけます。

ココがポイント

針・糸なしで
簡単お直し！

アイロンでさらに
強力・速乾接着

洗濯・
ドライクリーニング
OK

使いやすい
細口ノズル

商品名：「ボンド 裁ほう上手®」(ブリスターパック)
容量：17g / 45g
価格：オープン価格



を形にした
ミシン要らずの接着剤



TVCM 放映中!!

ズボンのスソ上げを嫁(ボンド 裁ほう上手®)VS姑(ミシン)で対決するという内容で、「ボンド 裁ほう上手®」が簡単・スピーディーに作業ができることをコミカルにPRするストーリーとなっています。YouTubeのコニシ公式チャンネル「KONISHI BONDch」にアップしています。



各種メディアに取り上げられています

「ミシンがなくてもかばんが作れる接着剤」というコンセプトが、お客様にとってわかりやすかったことなどから、当製品がNHK「あさイチ」、MBS「せやねん」をはじめとする各種メディアに取り上げられました。

2年前の発売からじわじわと知名度をあげ、売上は好調です。



栃木工場に16年ぶりの新製造所竣工!

本年6月、栃木工場第一製造所が竣工しました。栃木工場にとって16年ぶりとなる新製造所には、ベース釜、製造釜、加工用設備などを設置、箱詰めから出荷用のパレット積みまですべて自動ラインとなっています。同製造所へは今期14億円の設備投資を行う計画となっております。需要増が見込まれるタイル用および床施工用の弾性接着剤等を製造し、生産体制の増強を図ります。今後は随時、土木用接着剤等の生産も開始予定となっており、予定設備が整えば、月500tの生産が可能になります。



▲ 竣工式の様子



▲ 新設された栃木工場 第一製造所



▲ 製品のベースを配合するベース釜



▲ 1,600ℓの製品加工用プラネタリーミキサー



▲ 充填室



栃木工場 第一製造所

栃木物流センター

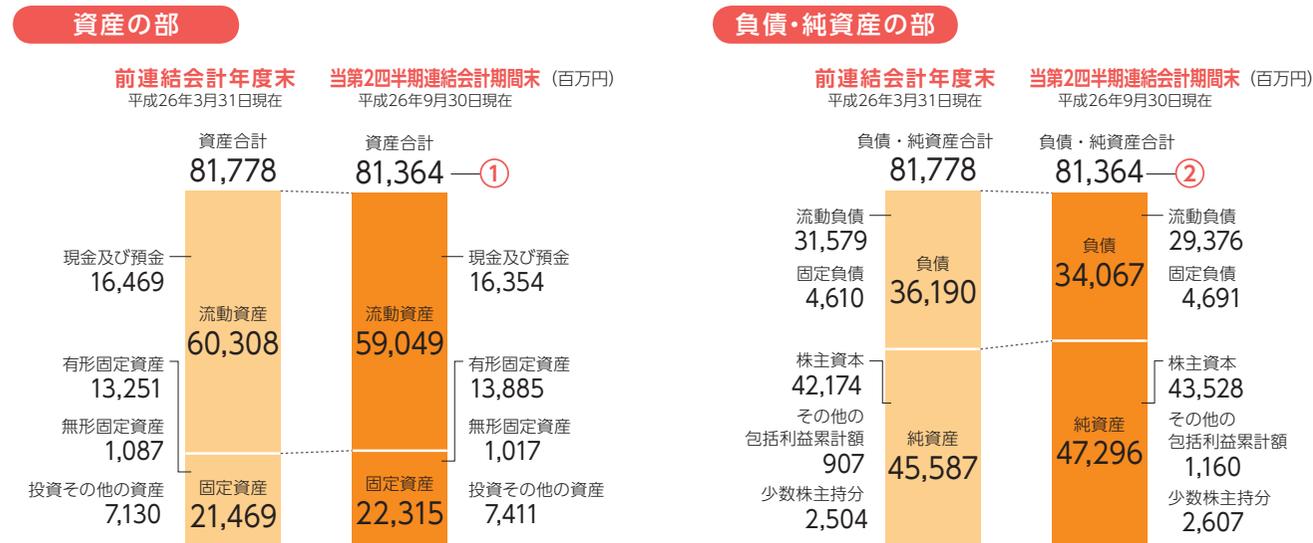
栃木工場は、下野市にある柴工業団地の一角にあり、合成接着剤「ボンド」の東日本地区における供給拠点として1986年(昭和61年)に操業を開始しました。ここで生産される接着剤には、ゴム・溶剤形、エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系、変成シリコン系などがあり、主な製品は内装施工用・土木建築用製品になります。

2012年(平成24年)には、栃木工場の向い側に、東日本における物流の要となる「栃木物流センター」を建設しました。新物流システムを導入し、倉庫内のロケーション管理やロット管理など、更なる物流業務の向上を図り、お客様により良いサービスを提供しています。



連結財務諸表

▶ 連結貸借対照表



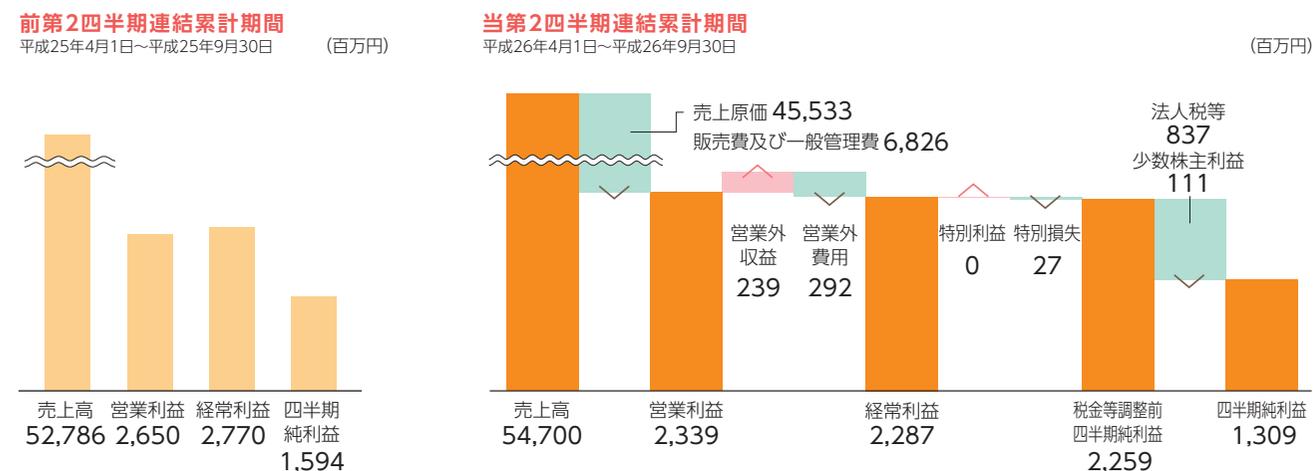
ポイント 1 資産

資産は、商品及び製品が3億22百万円、未成工事支出金が6億67百万円、有形固定資産が6億34百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が23億99百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億13百万円減少しました。

ポイント 2 負債・純資産

負債は、支払手形及び買掛金が12億77百万円、未払法人税等が9億93百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億22百万円減少しました。純資産は、利益剰余金が13億53百万円、その他有価証券評価差額金が2億74百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億9百万円増加しました。

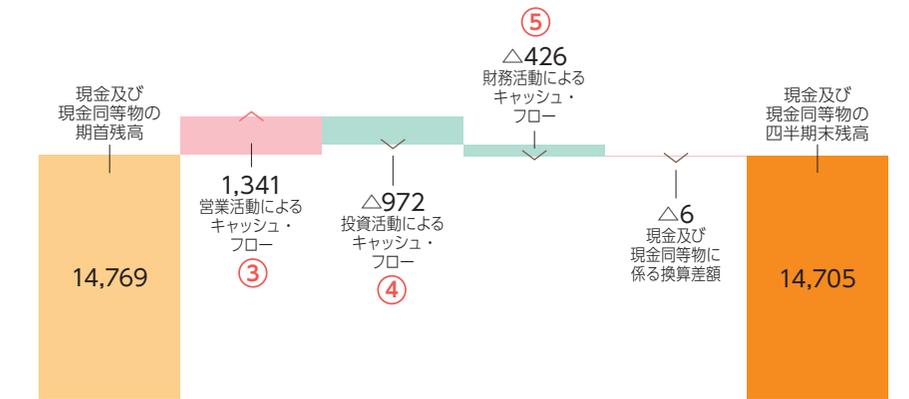
▶ 連結損益計算書



▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結累計期間
平成26年4月1日～平成26年9月30日

(百万円)



ポイント ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、仕入債務の減少額が12億39百万円、法人税等の支払額が17億81百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が22億59百万円、売上債権の減少額が23億45百万円あったこと等により13億41百万円となりました。

ポイント ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

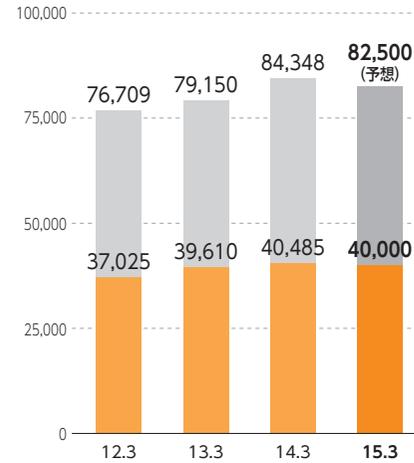
投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出等により9億72百万円となりました。

ポイント ⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が3億15百万円あったこと等により、4億26百万円となりました。

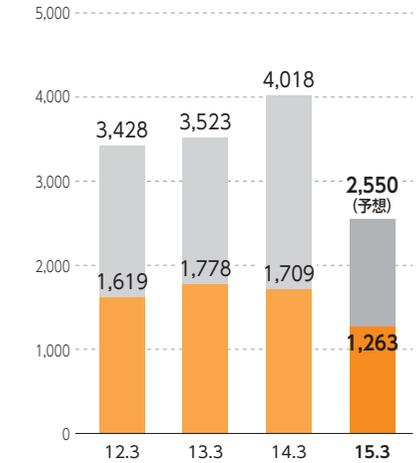
▶ 売上高

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



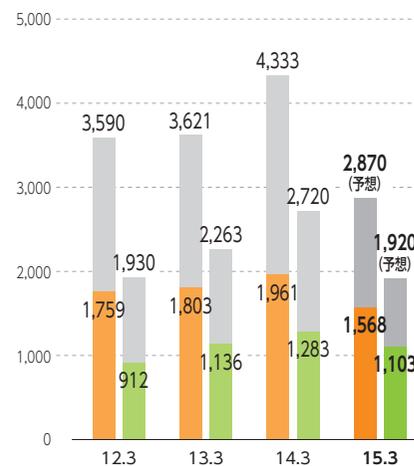
▶ 営業利益

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



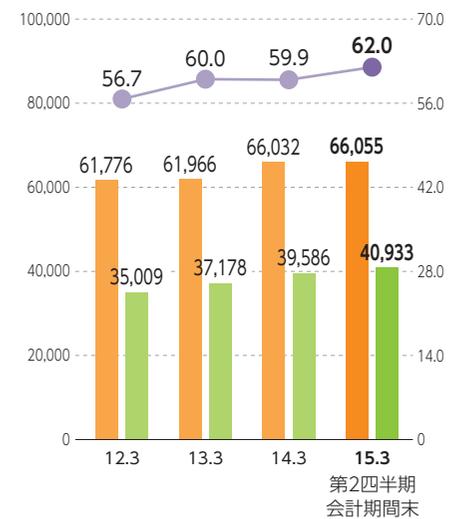
▶ 経常利益・四半期(当期)純利益

■ 経常利益 ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)
■ 四半期(当期)純利益 ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



▶ 総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 自己資本比率 (百万円・%)



会社概要

会社概要

設立	1925年(大正14年)9月25日
資本金	46億03百万円
従業員数	連結1,170名、単独709名(平成26年9月30日現在)
証券コード	4956
事業所	<p>本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号</p> <p>大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル</p> <p>東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア</p> <p>支店 名古屋、福岡、札幌</p> <p>営業所 仙台、栃木、高崎、横浜、金沢、広島、高松</p> <p>製造拠点 栃木工場、浦和工場、滋賀工場</p> <p>研究所 浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所</p> <p>物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター</p>

役員

(平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	大丸 智夫	常勤監査役	高村 輝男
代表取締役社長	横田 隆	監査役	竹内 鈴子
専務取締役	東郷 正人	監査役	坂口 博信
取締役	小西 哲夫	監査役	狩野 仁
取締役兼執行役員	須藤 孝也	常務執行役員	山下 博史
取締役兼執行役員	日下部 悟	執行役員	野田 昌治
取締役兼執行役員	有澤 彰三	執行役員	松端 博文
取締役兼執行役員	井上 孝一郎	執行役員	大山 啓一



株式の状況

株式の状況

(平成26年9月30日現在)

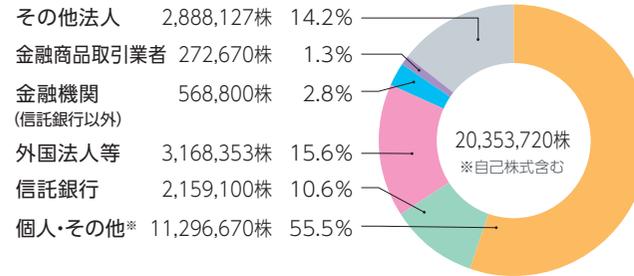
発行可能株式総数 80,400,000株
 発行済株式の総数 20,353,720株
 1単元の株式数 100株
 株主数 5,854名

大株主 (上位10名)

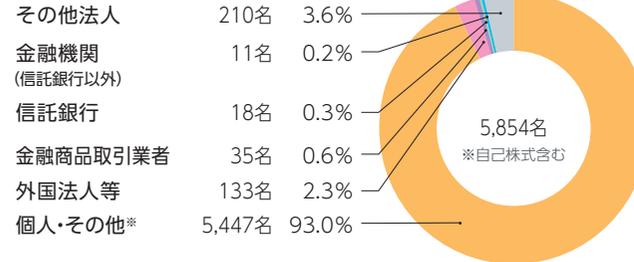
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
小西信一郎	1,485	7.52
コニシ共栄会	1,148	5.81
小西千代子	410	2.07
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	370	1.87
コニシ従業員持株会	353	1.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	1.78
井上道子	345	1.74
株式会社カネカ	342	1.73
バンクオブニューヨーク ジーシーエム クライアント アカunts イー ビーディー	316	1.60
小西哲夫	309	1.56

(注1) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 (注2) 持株比率は、自己株式(611,327株)を控除して算出しております。

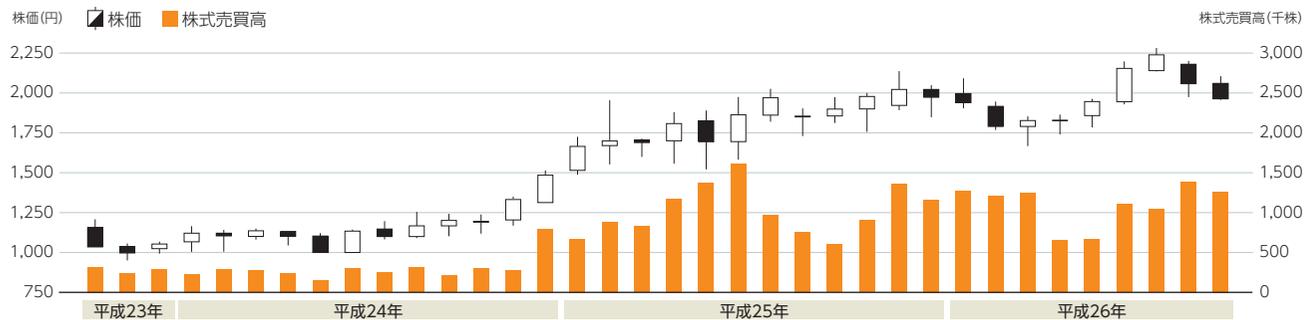
所有者別株式数の分布状況



所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移



WEB SITE

ホームページ紹介

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス
<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。